

今週の見頃写真

6月24日編集

有峰も梅雨の季節を迎えました。

梅雨の晴れ間に今週の有峰の動植物を撮影しましたので報告します。

□動物編

○ニホンザル

西岸線と小口川線との分岐点付近から大多和峠までに縄張りをもつニホンザルの集団（コロニー）の一日は、このところこの分岐点での朝の食事からスタートするようです。主にオオカサモチ（セリ科）やオオイタドリ（タデ科）の根元の茎を捕食していました。オオカサモチの茎はセロリのような芳香がします。ゆっくりと移動しながら朝食をとっていました。有峰はニホンザルの恒常的生息域です。



オオカサモチを捕食中のニホンザル
捕食後のオオカサモチは道路沿いに放置
(西岸線の道路に 6/22AM8 時頃撮影)



ボスザル？がこちらを凝視
(西岸線の道路に 6/22AM8 時頃撮影)

○ツキノワグマ有峰ビジターセンター前に出沒

6月23日の正午過ぎ、猪根平有峰ビジターセンター前にツキノワグマが出沒しました。今年初めての出沒です。ゆっくりとせせらぎ広場の森の中に消えていきました。有峰はツキノワグマの恒常的生息域です。



猪根平有峰ビジターセンター前にて 6/23 撮影



猪根平有峰ビジターセンター前にて 6/23 撮影

○キクガシラコウモリ？再来！

6月22日、冷タ谷キャンプ場の東側に設置されているトイレの天井でキクガシラコウモリ？と思われるコウモリを発見したので撮影しました。タイル張りの床には糞や食べ残しの蛾の翅が散乱していました。直ぐに清掃・消毒を行いました。6月23日このトイレがコウモリの定宿にならないよう忌避剤（コウモリ忌避スプレー）を散布しました。トイレ内にハッカ臭（メントール）が充満し、直後、天井のコウモリがいなくなりました。追い出し効果に驚きました。



天井にぶら下るククガシラコウモリ？

(冷タ谷キャンプ場にて 6/22 撮影)



天井にぶら下るククガシラコウモリ？

(冷タ谷キャンプ場にて 6/22 撮影)



忌避剤（コウモリ撃退スプレー）準備中の指導員

(冷タ谷キャンプ場にて 6/23 撮影)



忌避剤（コウモリ撃退スプレー）噴射中の指導員

(冷タ谷キャンプ場にて 6/23 撮影)

昆虫編

○アサギマダラ（タテハチョウ科）再発見！

6月上旬から有峰でも「旅する蝶」アサギマダラが出現し始めました。夏は、低地から高地へ、南から北へと移動することが知られています。夏になり咲き始めるヨツバヒヨドリ（キク科）は、アサギマダラの代表的な訪花植物の一つです。幼虫の食草のイケマ（ガガイモ科）と同様、この植物の蜜には性ホルモンの原料になるピロリジンアルカロイドが含まれていることが知られています。この性ホルモンは、さらに、脳や中枢神経に作用して生体アミン類という行動を活性化させる物質の量を増やす役目も果たし、配偶（交尾）行動や長距離の旅への挑戦にも役立つようです。有峰でもヨツバヒヨドリが咲き始めました。



ミズナラの葉上で静止中のアサギマダラの♂

(冷タ谷キャンプ場にて 6/22 撮影)



ミズナラの葉上で静止中のアサギマダラの♂

(♂の後翅には黒斑状の性標が存在)

(猪根平にて 6月23日撮影)



西岸線の道路沿いで開花し始めたヨツバヒヨドリ
(西岸線にて 6/23 撮影)

○オオスカシバ (スズメガ科)

うぐいす色の太い胴体を持ち、透明の翅を素早くはばたかせて直線的に飛ぶスズメガの仲間です。腹部に赤褐色の帯があり、腹端には黒色の毛束をもちます。腹面は白です。主な食草はクチナシですが、有峰にはクチナシがほとんど植樹されていません。食草の調査が必要です。



アキグミの花に訪花し吸蜜中のオオスカシバ
(猪根平にて 6/22 撮影)



アキグミの花に訪花し吸蜜中のオオスカシバ
(猪根平にて 6/22 撮影)

○植物編

○クモキリソウ (ラン科)

有峰では冷タ谷キャンプ場の林下でひっそりと生息しているラン科の多年草です。今年もこのランと再会できました。



林下でひっそり生息するクモキリソウ
(冷タ谷キャンプ場にて 6/22 撮影)